

## 令和元年度老人保健健康増進等事業

### 通いの場の推進方策に関する研究事業

一般社団法人共生社会推進プラットフォーム

#### 1. 事業の目的

今後通いの場を推進するためには、民間と連携した取組や無関心層へのアプローチ、インセンティブの活用、普及啓発手法等を含めて検討するとともに、地域づくりの一環として各自治体や地域が推進することが重要であり、優れた自治体等の取組を全国的に広げていくことが有効と考えられる。

このため、本事業は、通いの場を推進に関する自治体等の好事例をヒアリング・収集して好事例集を作成するとともに、実態調査、これからの地域づくりについて関係者の理解を深めるセミナーの開催等を通じて、通いの場を推進することを目的に実施した。

#### 2. 事業の概要

##### 1) 超高齢社会における地域づくりのあり方セミナー

日本健幸都市連合加盟の自治体及び関係者を対象に、「これからの地域づくり戦略」に関する理解を深めるためのセミナーを、関東と関西で実施した。

##### 2) 実態調査1. 通いの場の推進等の地域づくりに関するアンケート調査

日本健幸都市連合参加の自治体を対象に、通いの場の推進方策等の地域づくりに関する自治体の取組状況を調査した。

##### 3) 実態調査2. 高齢者の「通いの場」に関するアンケート調査

55歳～80歳代の方を対象に、通いの場に関するアンケート調査を行い、通いの場に参加している方／していない方の実態（65歳以上）やニーズを集計・分析した。

##### 4) 実態調査3. ヒアリング調査

自治体、民間事業者、NPO、関連事業者、通いの場に通っている方等に対して、通いの場に関するヒアリング調査を実施した。

##### 5) 事例集の作成

上記1～4（特に4）をベースに、自治体等が通いの場を推進する上で今後の参考としてもらうための事例集を作成。

#### 3. 事業結果の概要

本研究事業では、通いの場を推進するためのセミナーで関係者の理解を深めるとともに、3つの実態調査を行い、自治体等の好事例を広めるための事例集を作成した。

事例集の作成にあたっては、以下の点を重視した。

- ・体操から次の段階への発展の事例
- ・体操等に限らない多様な活動
- ・公園、農園等の多様な場所の活用
- ・継続・発展させているコツ・工夫
- ・やりがい・生きがいを感じる場づくりのための工夫
- ・専門職（保健師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士等）の関わり方
- ・他機関との連携
- ・共生・全世代
- ・様々な地域
- ・自治体以外の主体の実施する興味深い取組